

IC-7300 VS FTDX10 リモート運用比較

No.	比較項目	IC-7300	FTDX10
1	リモートに必要な機器とソフト	IC-7300本体(153K)、 USBケーブル(1K)、 RS-BA1 Ver2ソフト(9K)、 RC-28(21K) (概算で184K)	FTDX10本体(217K)、 SCU-LAN10 (USBケーブル等は付属) (32K)、 SCU-17 (USBケーブル等は付属) (22K)、 ネットワークリモートコントロールソフト(0K) (概算で271K)
2	リモート・ネットワーク接続	パソコンにRS-BA1 Ver2ソフトをインストールし、IC-7300とパソコンをUSBケーブルで接続すれば、パソコン経由でネットワークに接続する事が出来ます。	SCU-LAN10を購入してFTDX10と接続すれば、SCU-LAN10経由でネットワークに接続する事が出来ます。
3	リモート制御ソフト	RS-BA1 Ver2ソフトを購入する必要があります。	リモート制御ソフトは、無料でダウンロード可能です。
4	リモートSSB運用	RS-BA1 Ver2 ソフトとパソコンに接続されたマイクで送受信可能。RC-28をパソコンに接続すれば、RC-28のダイヤルで周波数が換えられ、送信スイッチをONすれば送信が可能です。	ネットワーク リモートコントロールソフトとパソコンに接続されたマイクで送受信可能。 但し、FTDX10のSSB設定を変更する必要があります。
5	リモートCW運用	RS-BA1 Ver2 ソフトで欧文の送受信が可能です。送信は、キーボードで行います。但し、和文は出来ません。	ネットワーク リモートコントロールソフトで受信は出来ますが、送信は出来ません。
6	リモートFT8運用	IC-7300とパソコンがUSBケーブルで接続されていれば、Googleディストップ上でのFT8運用が可能です。	SCU-LAN10は、FTDX10の背面のUSB端子と接続するため、SCU-17を購入してパソコンとUSBケーブルで接続し、背面のデータとシリアルケーブルを接続すれば、Googleディストップ上でのFT8運用が可能です。
7	ダイヤルで周波数変更	リモートエンコーダーRC-28を購入し、パソコンに接続すれば、ダイヤルでスムーズな周波数変更が可能です。	パソコンのマウスでの操作となります。
8	外部オートアンテナ・チューナーの操作	RS-BA1 Ver2ソフトからAH-730、または、AH-4が制御出来ます。	ネットワーク リモートコントロールソフトからFC-40が制御出来ます。